

五時三十分 新潟県指定無形民俗文化財

大前神社 式三番

大崎郷土芸能振興会



六時十五分

— 休憩 (十五分) —

六時三十分

火入れの式

上田五十騎 代表

井口 一郎	桐生 重信
峠 佳一	桑原 市郎
大嶋 要三	高橋 辰次
高橋 理介	中島 繁昌
青木 賢一	星野 一夫
岩野 武司	山井 博
勝又 義一	青木清一郎
	関 栄一

六時四十分

女 お船の方 寺井 千景

若き里男 兼統の霊 寺井 榮

能兼

続

田風の舞 雪馬の翔 兼統の霊 寺井 榮

太鼓	小鼓	笛
大鼓	飯田 弘之	松田 清一
	柿原 光博	小寺真佐人

後見	坂井 音晴	武田 文志	木原 康之
田邊	哲久	昌司	高梨 良一
		重孝	松木 千俊
	地謡	野村 重孝	
	藤波		

脚本演出 高井松男 詞章校閲 前川斎子 間狂言補筆 山本東次郎

作詞 飯田清一・松田弘之・柿原光博・小寺真佐人
型付補綴 寺井 榮 型付飾付 観世喜正
舞台監督 鈴木裕子・高橋 透・小磯智幸 照明 篠原浩明
音響 野中正行 スチール 前島吉裕 制作 高見沢公子
プロデューサー 演出補 旅川雅治

※終演予定八時頃



大前神社 式三番 露払いの役割をする千歳(せんざい)、天下泰平と長寿延命を祈る翁、五穀豊穰を祈る三番叟(さんぼそう)の三つの舞から構成される。

火入れの式 上杉景勝公が、謙信の養子として春日山城に入る際、坂戸城の家臣の中から精鋭五十人を選び、上田五十騎を編成。本日はその代表十五名が火入れを勤めます。

兼統 【前場】米沢から来た旅の僧は、越後与板で若い夫婦に出会う。夫婦は、御館の乱の事を語り、ところの名所等を教え、まもなく兼統とお船の方であると言いついて、お船泉の辺りで、螢火に紛れ消える。

【中入り】旅の僧と里の者との問答。

【後場】お船の霊が田風の舞を舞い終わると、雪国の空は暗雲となり、兼統の亡霊が現れ生前の戦語りをし、雪馬の翔(カケリ)という特殊な所作があり。その後、兼統は「義の戦、民米守れば勝ち戦」と告げ、夫婦共に雪の中へ消えて行く。

□ 主な演者プロフィール □



寺井 榮 (一九四七年生・東京都出身)シテ方観世流能楽師

二十五世観世左近に師事。重要無形文化財総合指定保持者。(社)観世会常務理事。文化庁文化交流使。シドニー大学前客員教授。六日町龍堂会主宰。観世流を代表する演者の一人。国内での定評ある舞台はもとより、海外公演での出演・プロデュースにも才気が光る。緻密で華麗な芸風は、兼統役に相応しい。



高井 松男

(一九四八年生・長岡市出身)ワキ方宝生流能楽師人間国宝・宝生閑に師事。重要無形文化財総合指定保持者。早稲田大学第一文学部卒。能の上演の他、舞台芸術全般の上演を目指す舞台芸術プロジェクトを旅川雅治と創設。墨詩・良寛シリーズの数々の上演。本日の新作能「兼統」の演出・出演は、初演に続き三回目の上演。スケールの大きな演出と演技は他の追随を許さない。



寺井 千景

(一九八二年生・東京都出身)シテ方観世流能楽師父・寺井榮に師事。東京芸術大学大学院修了。シドニー大学前助手。千景の凛として可憐な舞は、お船の方を蘇えらせる。

■お問い合わせ■ 新作品「兼統」生誕地上田庄薪能公演実行委員会事務局

〒949-6623 新潟県南魚沼市六日町 865 (財)南魚沼市文化スポーツ振興公社内 (TEL 025-773-5500 FAX 025-772-8161)

■お問い合わせ専用ダイヤル 090-3803-0471